

年報 経営ディスクロージャー研究

No.16 2017年3月

日本ディスクロージャー研究学会

目 次

序 文

—『年報』第16号の発刊にあたって— 乙政 正太

特 集

特集（1） 特別プロジェクト最終報告

1. 負債と資本の中間項目の開示

1) 最終報告書 特別プロジェクト代表 野口 晃弘 (5)
(名古屋大学)

2) ストック・オプションの公正価値評価における
インプット情報の裁量的な操作 田澤 宗裕 (13)
(名城大学)

2. 日本企業のディスクロージャーにおける利益の平準化とその抑制

1) 会社法配当規制と利益平準化行動の抑制 市原 啓善 (35)
(小樽商科大学)

2) 群衆的予想改訂による利益平準化効果の抑制 山田 哲弘 (47)
(中央大学)

特集（2） 現代社会におけるディスクロージャーの役割

1. 地方自治体による発生主義財務情報開示の意義 大塚 成男 (67)
(千葉大学)

2. 第三セクター方式の鉄道事業会社の

経営とディスクロージャー 鳥塚 亮 (69)
(いすみ鉄道株式会社)

特集（3）経営者予想とディスクロージャー

1. 経営者予想利益の裁量性と市場の評価 首藤 昭信（73）
（東京大学）
2. 経営者予想の修正速度と市場の評価 太田 浩司（74）
（関西大学）

論 稿

1. IFRS任意適用の公表に対する株式市場の反応：
企業間の差異を中心に 金 鐘勲（79）
（一橋大学大学院商学研究科特任講師）
2. ハイブリッド証券に係る市場の反応と会計処理に関して
—現金決済条項付転換社債型新株予約権付社債を題材として—
..... 山田 和宏（101）
（横浜国立大学国際社会科学府）
3. ヘッジ会計適用に関する考察
—一般ヘッジと業種別ヘッジとの比較を中心として—
..... 松山 将之（119）
（株式会社日本政策投資銀行）

その他（研究ノート）

- 会計情報に基づく現在価値関係 椎葉 淳（133）
（大阪大学）

資 料

1. 日本ディスクロージャー研究学会役員一覧 (153)
2. 日本ディスクロージャー研究学会第13回研究大会プログラム (154)
3. 日本ディスクロージャー研究学会第14回研究大会プログラム (156)
4. 第2回JARDISワークショッププログラム (158)